議会だより

Vol.107

入園、おめでとうございます。

～田子幼稚園入園式～

令和３年４月８日、入園式が行われました。ワクワクとドキドキを胸に、小さな瞳はキラキラと輝いていました。

目　次

1. 第１回定例会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
2. 一般質問／施政方針への質問 ・・・・・ P3～ P9
3. 予算特別委員会 ・・・・・・・・・・・・・ P10～ P11
4. 各委員会報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
5. 新型コロナウイルス対策 ・・・・・・・・・・・ P13
6. 合同常任委員会活動 ・・・・・・・・・・・・・ P14

令和３年４月２２日発行　青森県田子町議会

令和３年田子町議会定例会／臨時会

第１回定例会あらまし

令和３年第１回定例会が３月５日（金）から３月15日（金）までの11日間の会期で開催されました。

３月５日には諸般の報告、令和３年度施政方針、議案の上程・説明がされました。

３月８日の一般質問には５名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論が交わされました。

３月９日の施政方針に対する質問には１名の議員が登壇しました。

同日、予算特別委員会が設置され、令和３年度一般会計予算と特別会計予算について認定すべきものと決しました。

３月15日、議員提案、陳情の付託、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認、令和３年度の議会議員旅行命令を議長に一任の承認が行われました。

同日、追加日程として議案２件が上程され、その他、報告１件・議案20件について承認・可決となりました。

第１回臨時会

令和３年第１回臨時会が１月22日（金）に開催されました。議案１件が審議され可決されました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
報告第１号	専決処分した事件の承認について（令和２年度田子町一般会計補正予算（第１３号）について）	原案可決（賛８・否０）
議案第２号	令和３年度田子町一般会計予算について	原案可決（賛８・否０）
議案第３号	令和３年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	原案可決（賛８・否０）
議案第４号	令和３年度田子町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決（賛８・否０）
議案第５号	令和３年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算について	原案可決（賛８・否０）
議案第６号	令和３年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算について	原案可決（賛８・否０）
議案第７号	令和３年度田子町水道事業特別会計予算について	原案可決（賛８・否０）
議案第８号	田子町老人福祉センターに係る指定管理者の指定について	原案可決（賛８・否０）
議案第９号	大黒森施設に係る指定管理者の指定について	原案可決（賛８・否０）
議案第10号	田子町ガーリックセンターに係る指定管理者の指定について	原案可決（賛８・否０）
議案第11号	田子町介護保険条例の一部改正について	原案可決（賛８・否０）
議案第12号	田子町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	原案可決（賛８・否０）
議案第13号	田子町道路占用料等徴収条例の一部改正について	原案可決（賛８・否０）
議案第14号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決（賛８・否０）
議案第15号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決（賛８・否０）
議案第16号	町道路線の認定について	原案可決（賛８・否０）
議案第17号	令和２年度田子町一般会計補正予算（第１４号）について	原案可決（賛８・否０）
議案第18号	令和２年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第６号）について	原案可決（賛８・否０）
議案第19号	令和２年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第５号）について	原案可決（賛８・否０）
議案第20号	令和２年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第５号）について	原案可決（賛８・否０）
議案第21号	令和２年度田子町水道事業特別会計補正予算（第４号）について	原案可決（賛８・否０）
議案第22号	令和２年度田子町一般会計補正予算（第１５号）について	原案可決（賛８・否０）
議案第23号	田子町副町長の選任について	原案可決（賛８・否０）

※議長は採決には加わりません。

一般質問

３月定例会では３月８日に一般質問が行われ、
５人の議員が町政について質問をしました。
内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。
ＴＣＶでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・Ｐ４
- 町の消防について
- ふるさと納税について

○宮村議員・・・Ｐ５
- 新型コロナウイルス感染症関連について

○北田議員・・・Ｐ６
- 地域共生社会について
- 障害福祉について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について

○尾形議員・・・Ｐ７
- 県立高校編成にともなう田子高校募集停止後の対応、対策について
- 町職員の町外からの通勤による問題点と解消法について
- 農業における町の取り組みについて

○山崎議員・・・Ｐ８
- 新型コロナウイルス感染症対策関係について
- たっこにんにくの振興について
- 田子牛の生産拡大（増頭）について
- 古民家施設の改修工事について

質……質問　答……答弁

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。

欠端 則夫 議員

少子高齢化等による人手不足について

町の消防について

質 消防車の仕様と配置、更新計画は。

答 第1、第5、第8分団には水槽搭載、その他の分団には水槽不搭載のポンプ車を配置しており、更新は25年を目処に行い令和4年度から7年度及び9年度にかけて各年度1台ずつとし、配備する消防団の意見を取り入れながら同等の機能もしくは、水槽付き車両への更新を計画している。

質 装備品について、可搬式のポンプの状況と無線の性能向上は考えているか。

答 可搬式ポンプは5台配備しており、無線については通信状況を確認しながら現在配備している機器において、最も有効な利用ができるように、調査していきたい。

質 車両運転の免許取得への配慮や、必要物品を消防団と協議しているか。

答 平成29年3月の改正以降、同年9月から免許を取得した場合、費用の2分の1を助成しており、必要物品の協議については概ね月に1回程度、各分団長以上の幹部会議や、必要に応じて団付き分団長以上の本団会議を開いています。

町全体で人不足が深刻化

ふるさと納税について

質 ふるさと納税について人気の品目や現在の状況は。

答 令和3年1月末現在で6666件、9043万8千円となっており、対前年度同月比で、3697件、4691万円の増となっており、伸び率では2倍となっている。選択割合で最も多いのは「鶏肉」で焼き鳥が人気で、②番目は「にんにく」、こちらは「黒にんにく」も人気となっております。③番目は「牛肉」で、すき焼きが人気です。

質 人気の品をホームページ等で大きく宣伝できないのか。

答 総務省より「返礼品を強調した、寄付者を誘引するための宣伝広告」を行ってはならないと告示が出ておりますので、寄付サイトのみのPRとしております。

質 さらに増やすためには、品目や品質など何が必要か。

答 全国的に、牛肉、魚介、果物等が人気で、県内は「りんご」が特に人気が高い。当町でも掲載しているが品切れになってしまう。これからは、果物の種類や数量の確保が課題となってくる。品質についてもばらつきが無いように一定の基準やチェック体制を整えるなどの検討が必要と考えている。

質 ふるさと納税の寄付について、寄付者から寄付先の指定がされているのはいくらか。

答 田子町への寄付については、全て指定されています。

全国的なブランド周知につなげたい

宮村 尚哉 議員

コロナウイルス感染症対策関係

ワクチン接種について

質 ワクチンの供給、接種計画、対象者への周知方法は。

答 供給については、全て国が調達、整備し、市区町村に配分することになりますが、国においての調達が不十分で、当町への配分も示されていない状況です。次に、接種計画ですが、基本的な考えとして国の指示のもと市町村において実施するとなっています。対象者は16歳以上で、接種順位は、医療従事者等、65歳以上の高齢者の方、基礎疾患を有する方、それ以外の方の順となり、接種方法は町内の2医療機関で完全予約制による個別接種を計画しています。周知方法については、接種日が決まり次第、ケーブルテレビ、全戸配布のチラシ、緊急告知放送を使い周知徹底したい。

質 ワクチンはマイナス60度からマイナス70度での保管が必要だが、管理体制は。

答 接種場所の2医療機関に、超低温冷凍庫を各1台置き、必要数をその都度、解凍し接種する。

集団ではなく個別接種

農業者支援について

質 農業支援の現在の状況と検討結果について。伴い、これから先の支援についての考えは。

答 令和元年度と令和2年度の確定申告を比較して、これまで町が行ってきたコロナ対策支援と同様に15％以上減収した世帯を対象に支援したいと考えている。ただし、畜産農家のようにすでに10万円の給付を受け取っている世帯や農業を廃止している世帯などは対象としない。これから先の支援については雇用の維持、事業の継続、そして生活の下支えなど、最優先で取り組まなければと考えている。国、県の動向を見ながら、検討、協議し必要な時期に必要な支援をしていく。

質 農業支援について、申請の受付から支給までの時期や、判断基準は。

答 4月から申請の受付を開始して、交付は6月末になります。支給対象の判断は産業振興課で行い、減反、増反も聞き取り調査や、反別あたりの面積に換算して収入面を考慮して判断する。

質 15％減収した農業者が対象としているが、見直しと、支給の前倒しはできるか。

答 多くの方が対象となるよう15％を基準にした。しかし、農業者の実情を考慮して見直しが必要だと考えている。商工確定申告の結果を踏まえ多くの方が対象となるようにし、支給時期については税務の特性上早めるのは難しいが、前倒しも合わせて、議会と相談しながら判断し、できる限り寄り添っていきたい。

質 これから行う農業者支援等を田子町の地域振興券で配布することによって、商工業の支援にも繋がり、町の中でお金が回る関係が構築されると思うがどうか。

答 一つの大きな検討材料になると思うが、国の支援基準に該当するかも考慮しながら検討し進めていきたい。

農・工・商と基幹産業を支援する

田子町における地域課題の今後について

北田　騰 議員

地域共生社会について

質 「田子町型地域共生ケアシステム」とはどんなシステムで、自治会や町内会、住民の役割はあるか。

答 住民や各団体から挙げられた地域課題について、住民や様々な専門職、担当課が一つになって解決を目指すもので、地域課題は5つの専門部会で組織する実務担当者会議において協議し、対応できない場合には、上位組織として構成する委員会で更に協議し、政策展開につなげていくものです。自治会等の役割としては、地域の課題を吸い上げることや、課題解決に関わることが予想される。

障害福祉について

質 障害者福祉計画に当事者や保護者、田子町に所在する施設の要望や意見をどのような形で聞き取りし、反映させているのか。

答 本計画は障害専門部会で検討を重ねており、障害をお持ちの方やその家族、更には、町内の事業者や雇用されている事業主など障害者の日常生活に対して多くの知見をお持ちの方々で構成されているため幅広い意見が反映されている。昨年のアンケート調査では、障害福祉サービスの利用実態や福祉に時間する知識、意向などを把握することを目的に実施し、より最適なサービスを町として今後も提供していくため貴重な資料として活用している。確認された課題については、事業者と情報共有会議を定期的に開催し支援を拡大していく。

質 施設入所決定へのプロセスは。

答 一般的には手帳を持っていれば利用可能で、精神障害や児童生徒の場合は医師の判断で利用可能です。サービス利用希望の方には町で障害支援区分認定調査を行い、その中でも作業訓練を希望する場合は相談支援員と家族が相談し、相談支援事業所を決定することになります。なお、一般的に施設利用にあたっては事前に見学してから決定します。

申請方法等は各自治体の担当者に問い合わせし、確認してください。

ワクチン接種について

質 接種費用、接種の際の同意、接種後の副反応への対応、副反応が起きた場合の健康被害救済制度について。

答 接種費用については全額、国の負担です。接種の際の同意は、予診票を記入してもらい、その中で自署もしくは代筆で同意となります。「副反応への対応」については、アナフィラキシーなどの重度の副反応には医療機関が治療手順に基づき対応し、軽度の副反応については町のコールセンターで保健師、看護師が相談を受けます。「副反応が起きた場合の健康被害救済制度」については、国の制度である予防接種後、健康被害救済制度が適応となり、本人または家族が町に申請し、厚生労働省の審査会で決定されるもので、給付の内容は、医療費、医療手当、障害年金、死亡一時金があります。

質 接種希望者がキャンセルした場合は当日の高齢者接種に付添で来ている方に接種はできないか。また、災害や悪天候で接種場所に来られない場合は。

答 翌日に予約している方などに声がけをして無駄が出ないようにする。付き添いについては一つの案として検討させていただく。災害時は、その日の接種は中止とし予約していた方々には電話等で個別に連絡を取り今後の接種予定を検討していく。

尾形 憲男 議員

田子高校募集停止後の対応は

募集停止後の対応対策について

質 交通費負担増、下宿先の不足、進学先の選択肢の確保等への対応、対策は。

答 交通費や下宿代等の経済的負担に対しては、路線バスの田子町～八戸市直通便開設、入学祝い金の支給等で、保護者の皆様の負担軽減を図っており、学習に対しては、英検受験料の補助やギルロイ派遣とともに、外部講師を招いての英語塾の実施や小学生対象の「たっこ塾」により、日々主体的に学習に取り組む習慣作りを支援しています。また、保護者へは受験の数年前から、進学先を選択する際の通学や下宿先の情報、大学等さらに上級の学校へ進学する場合の経済的な負担についての知識などをお知らせする取り組みを行っていく。

伝統を継承する難しさ

質 ギルロイ派遣等、英語に力を入れているので数学やその他の強化への配慮も考えてほしい。

答 英検の支援のほかに今年度から漢字検定の支援も行っています。数学検定については、学校側で実施できないと効果は期待できないので、協議し検討していく。

農業における町の取り組みについて

質 田子町農産物直売所の運営管理について、経営の責任の所在、現状と対策は。

答 町内4つの産直団体における先導的な役割を担うべく「たっこ産直友の会」が運営主体と成り、将来的に産直団体の一本化も視野に入れつつ、自立運営を目指す。責任の所在に関しては、直売所の維持管理は町が、運営は、たっこ産直友の会が担っている。現状は、前年対比は60％増だが、コロナ渦等の影響も有り、目標額にたいして76・3％となっている。対策は、町と、たっこ産直友の会が連携して集荷体制の確立により労働力不足の軽減を図り、安定的な出荷、販売につなげていく。

質 にんにく種子事業の今後の展望と収支は。

答 今後も、今年度と同程度の栽培を行い、安定的な多年の供給を行っていきたい。また、収支については、昨年度と同様に在庫分の販売で約２００万円を見込み、地域貢献や販路拡大を目的とした無償提供分として約４００万程度の効果があったと見込んでいる。これに対し、経費は１千万円となり、上回っていますが収支の均衡が図れるようにしていきたい。

質 種の在庫分を販売し地域貢献、販路拡大の無償提供とあるが、ブランドを守るため、種の流出対策に矛盾しているのではないか。ブランドについては、品質保証と安定した供給体制とあるが、誰が補償するのか。

答 町として、最適な育成方法の確立ができていない状況ですが、継続的に研究と協議をしていく。

質 「たっこ1号」の取り扱いについて必要なこと、足りていないこと等、問題点と解消方法は。

答 種事業については様々な問題や課題が山積みしている。昨年度から件の研究所機関とともに試験をしている。今後も継続して、生産者が安心して購入できる種作りが必要と考え、がん抑制効果など、機能性にも着手した調査、研究、分析を進め販売力を高めていく。

ブランド化への取り組み

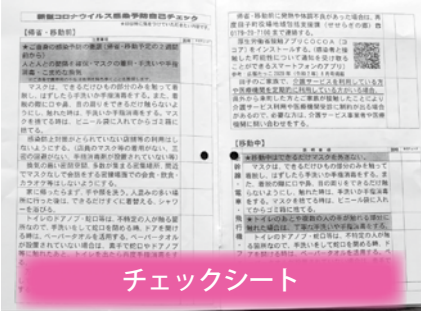
にんにく・田子牛の現状は

山崎 美代志 議員

コロナ対策について

質 町独自の対策として町民にどのように指導しているか。

答 警戒期間として、特定都道府県への不要不急の往来は控えてもらい、仕事、受験、就職等、必要な往来は、「帰省、移動のチェックシート」の活用をお願いしている。感染者が多数発生している地域へは、移動先の感染状況を踏まえて慎重に判断して、移動してきた方には、2週間の健康観察、行動履歴の記録や慎重な行動をお願いしている。



チェックシート

質 町独自の経済支援状況は。

答 商工業者等への支援状況は4月から9月にかけて売り上げが対前年同月比で15％以上減少した事業者や畜産農家に対して一律10万円の支援金を交付し、累計すると商工業者272件、肥育農家13件、繁殖農家33件となり、318件の申請があり、総額3180万円になる。これからの支援では農業者へ、収入額の15％以上減収した世帯へ支援したい。

たっこにんにくの振興について

質 品質状況、生産量、種の確保状況、販売促進の現状、にんにく生産者の後継者確保について町長の考えは。

答 品質状況については、成長は大変良いが「球割れ」や「おんぶ症」の発生が多く、生産量については栽培面積を減らしているが安定した種の供給確保はできている。販売促進の現状は、生産量が少ないことと品種特性を把握した栽培方法が十分でない状況ではあるが、がん抑制効果など機能性にも着目した調査、研究、分析を進めていて今後も販売力を高めていく。また、後継者確保については、労働力も課題となっているが、機械購入や作付けを増やした方への補助を引き続き実施していく。

田子牛の生産拡大について

質 田子牛の生産拡大における増頭計画と公共牧場の整備、生産者の後継者確保について町長の考えは。

答 田子牛産地形成事業により年々増頭傾向にあり、令和元年度からは産地として認定されるためには良い血統を導入することにより、産地全体の底上げをして品質重視の産地を目指し、生産者の所得向上を目的とした支援を行っていくことが必要と考えている。また、公共牧場については今ある施設を長期的に使用しできるだけ経費のかけない草地更新など検討していく。後継者については、担い手活用支援として自主研修費用などの助成を行い、若手農家の連携、協力ができる環境を作り、育成を図っている。新年度からは北里大学獣医学部と連携して、若手農家の教育を中心に実践的に学び育てる機会を増やしていきたいと考えている。

古民家施設の改修について

質 進捗状況と合わせて今後の利活用について町長の考えは。

答 工事は概ね順調に進んでいるが、一部資材の納入に遅れが生じたため、工期を延長した。今後の利活用は、観光資源である施設を有効利用するための仕組み作りが必要不可欠であり、民俗資料館を町の玄関口と位置づけ来町する方々への総合案内所としての機能と、町民憩いの場やチャレンジショップとして利用できる多目的な場所、さらにはイベントなどで活用できる施設として計画している。

施政方針に対する質問について

施政方針とは、町長が町政の基本方針や政策について明らかにするものです。

山崎 美代志 議員

「総合戦略・人口ビジョンの展開」について

質 「総合戦略・人口ビジョンの展開」のなかで我が町が実施するとしている移住・定住促進対策などの具体的な内容について町長の考えは。

答 基本目標に4つの柱を掲げ、「魅力あふれるしごとづくり」では、当町の基幹産業を守り、産業の活性化や創業・企業の促進により雇用の創出を図っている。次に、「みんなが住み続けたいまちづくり」は、地域における安心・安全の確立を図るため、消防防災体制の充実を図り、安心できる防犯体制と明るいまちづくりを進めている。次に「結婚から始まる子育て総合支援」では、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援体制を整え、保育・教育環境の充実と経済的・精神的負担の軽減を図り、若い世代が安心して働き、安心して子どもを産み育てられる環境作りを推進している。最後に、「町民だれもが活躍できる社会づくり」では、健康寿命の延伸に向けて保健・医療・福祉の連携により総合的な健康増進を図り、健康作りとスポーツ交流により地域コミュニティを形成するため、活気のあるスポーツ・レクリエーション活動を進めている。

これからの未来の為にできること

質 移住、定住も最優先事項の一つだが、現在、田子町に住んでいる町民生活の充実も図っていかなければならない。生活に対する、町民アンケートを実施する考えは。

答 町民生活の充実は現在、取り組みの一つとして協議している。人口ビジョンは人口減少を緩やかにして人口比率を変えていく取り組みで、移住、定住だけに特化したり、満足できる生活だけを目標にするのではなく、田子町らしい地域と産業を育てていく事を進めていきたい。アンケートについては参考にさせていただきたい。

地元学・地域学の展開について

質 「田子町の教育」を考えた場合、歴史と文化に加えて今後、子供たちに学力向上や保護者の子育て支援を目的とした新たな取り組みとして「田子町学習塾」構想を提案したいが町長の考えは。

答 町で実施している子供たちへの学習支援に関しては、小学生対象の「たっこ塾」は「学びのアドバイザー」と「特別支援教育支援員」によって、学習の指導をしているもので子供たちのここの質問へ対応し個別の指導をしている。中高生対象の「英語塾」は、外部講師を招き主に英語検定の取得を目的に、長期休業中に開催している。今後も多くの子供たちの参加を呼びかけて、学力向上とともに保護者を支援していく。

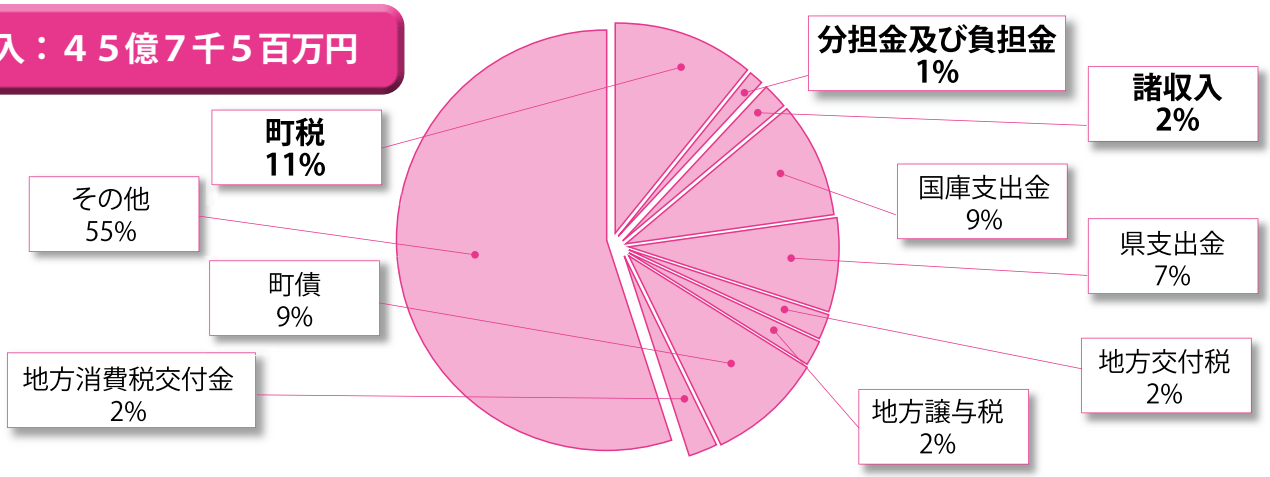
英語と身近に触れあえる環境をつくる

世代別の教育環境を重視

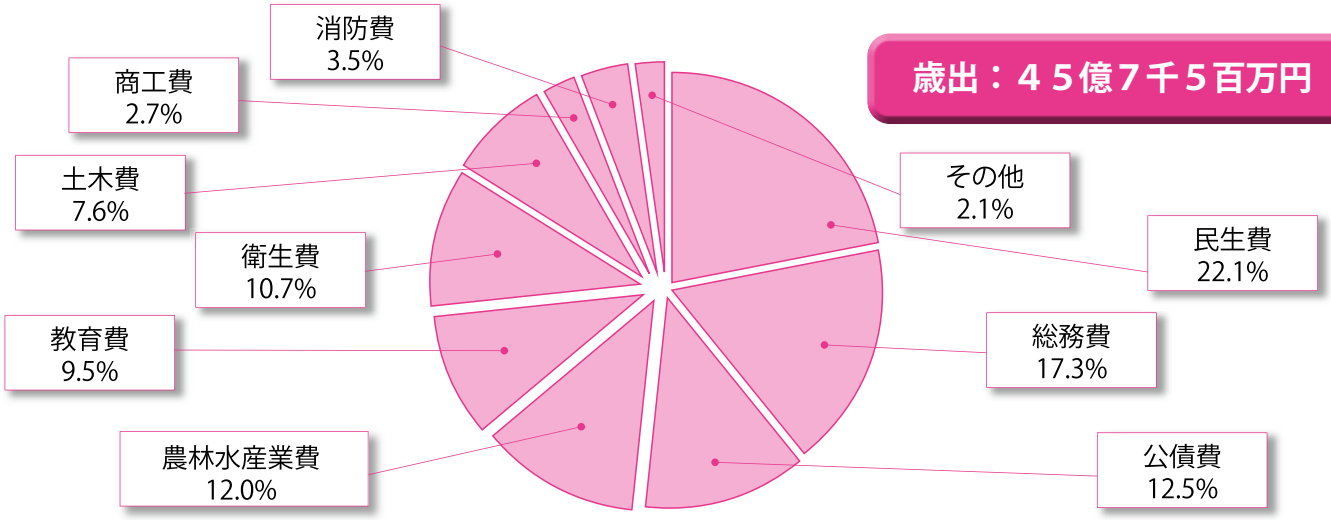
認定
対策関係による事業の見直しや新たな取り組み
ロナウイルスワクチン接種等が盛り込まれた

田子町の収入と支出　※太字で表示してある歳入項目は、自主財源

歳入：４５億７千５百万円



歳出：４５億７千５百万円



企業会計（水道事業）

収益的収入及び支出
歳入：１億６千２百万円
歳出：１億５千８百万円

資本的収入及び支出
歳入：１億５千２百万円
歳出：２億２千３百万円

特別会計

国民健康保険事業
歳入：８億５百万円
歳出：８億５百万円

介護保険事業
歳入：９億６千６百万円
歳出：９億６千６百万円

後期高齢者医療
歳入：７千８百万円
歳出：７千８百万円

診療所及び老健施設
歳入：４億８百万円
歳出：４億８百万円

令和３年度予算特別委員会

令和３年度当初予算について、予算特別委員会を設置し、３月９日から１５日までの日程で審査しました。委員長に宇藤大介議員が、副委員長に宮村尚哉議員が選出され、厳正な審査が行われました。

主な歳出項目について

総務費

○一般管理費　：　２７８，２４６千円
○定住移住促進費　：　２３，３０２千円
○交通安全対策費　：　３，４４２千円

衛生費

○保健衛生総務費　：　２５７，４９７千円
○母子衛生費　：　６，５８０千円
○環境衛生費　：　７１，７２０千円

農林水産業費

○農業委員会費　：　２２，６３６千円
○農業振興費　：２１６，８７８千円
○にんにく総合振興費：　５１，６９８千円
○畜産振興費　：　２６，３９８千円
○林業振興費　：　２３，９７０千円

商工費

○商工総務費　：　６２，６９９千円
○商工振興費　：　４，１１７千円
○観光費　：　５８，０１９千円

民生費

○社会福祉総務費　：　４２８，５３０千円
○高齢者福祉費　：　１９１，４０４千円
○児童福祉総務費　：　１４４，６７１千円
○子育て支援費　：　６８，５２７千円

教育費

○学校管理費（小学校）：　６１，８７９千円
○学校管理費（中学校）：　２９，２９４千円
○幼稚園費　：　３６，１４７千円
○社会教育総務費　：　３０，０６１千円
○保健体育総務費　：　４，３５４千円

土木費

○道路橋梁総務費　：　２，７４３千円
○道路維持費　：　２９，６７３千円
○道路新設改良費　：　１０２，４４４千円
○除雪費　：　３０，６１９千円
○住宅管理費　：　２３，５５７千円

令和３年度当初予算をコロナウイルス感染症が見られ、歳出にはコ

質問一部の要旨を掲載しています。

尾形委員：ケーブルテレビのあり方と今後について。

町長：情報発信における重要な役割を担っています。しかし、これからの情報時代に合ったあり方を考えていかなければならない。

蹴揚委員：町長交際費について、三村県知事のアピールで青森県ブランドはかなり有名になった。町長も田子町ブランドを積極的にアピールしなければならない。

町長：県の仕組みや町独自の仕組みを活用して、積極的に田子町ブランドをアピールしていく。

欠端委員：蜂用防護服更新とあるが、高齢者など自力で駆除が困難な世帯に対して担当課で代わりに駆除をしてもらえるか。

富岡課長：薬剤と防護服については無料で貸し出しているが、民家や個人の所有物に関しての駆除は行っておりません。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長　宇藤大介副委員長　尾形憲男委員
山崎美代志委員　欠端則夫委員

協　議

○実施日　1月13日
令和3年1月22日開会の令和3年第1回臨時会の議事日程について。

○実施日　2月19日
令和3年3月5日開会の令和3年第1回定例会の議事日程について。

議会広報編集委員会

○実施日　12月22日
議会だより第106号の内容確認、誤字・脱字・レイアウトについて校正を行いました。

○実施日　1月4日
最終校正を行い、令和3年1月21日に議会だよりを発行いたしました。

○実施日　2月19日
議会だより第107号の構成、スケジュールについて協議し、担当者を割り振り、順次業務を行っていくことにいたしました。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長　尾形憲男副委員長　椛本義見委員
山崎美代志委員　澤口勝委員

○実施日　2月9日

教育課
成人式について、令和3年8月14日に開催し、法律の改正に伴う成年年齢引き下げについては、検討した結果これまでどおり20歳に到達する年度に開催する。

総務課
非接触型体温測定器の購入を予定している。委員会からは、今後、総会等の開催が想定される自治会への非接触型体温測定器の貸し出しや消毒液の無償配布などを検討するよう要望した。

政策推進課
地域おこし協力隊の採用について説明があり、新規隊員として2名を採用し、5月1日の着任を予定している。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、合計で約3億8千万となり、町では35事業を実施し、余剰分については次年度事業へ充当する。

住民課
町コミュニティバスに係る停留所の移動や廃止、運行時刻表の一部見直し等について町総合公共交通協議会で協議するとの説明があり、委員からは利用者が減少する中で、オンデマンド交通の取り組みの検討やフリー乗降区間の拡充を求める意見が出された。

税務課
ふるさと納税については、寄付件数は6666件となっており寄附金額は、9043万円で、昨年度の約2倍の伸び率になっているとのことでした。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長　宮村尚哉副委員長　蹴揚清人委員
北田騰委員　澤口勝委員

○実施日　2月10日

診療所及び老健
3年度も医師2名体制を維持し、専門医については、整形外科、小児科、泌尿器科にはこれまでと同様診療支援をいただく。

地域包括支援課
令和3年度新規事業として、新型コロナウイルスワクチン予防接種事業等を予定していると説明があった。

住民課
上郷保育園の土地・建物の契約更新について説明があり、現在使用している「くりの木会」から継続使用申請書が提出されたため、更新に向けて書類整備を進めている。

建設課
七日市矢田郎線整備事業などの継続事業の他、新規事業として、新田向地区生活道路整備事業や矢田郎獅々内線整備事業などに着手する予定。

産業振興課
病害虫対策について、県内の2年産米の作況指数や町内での集荷状況やカメ虫斑点米の状況などについて説明があり、2年産はカメ虫被害が多く見受けられたことから、3年度は、ラジコンヘリによる適期の薬剤散布やドローンを活用した薬剤散布についても推進していく。

農業委員会
農業の担い手の確保や農地の効率的な利用を促進する観点から、農地を取得する際の下限面積の独自設定について検討している。

新型コロナウイルス感染症対策

非接触型体温測定器

令和2年度第2回定例会において、特別職給料（町長・副町長・教育長）及び議員報酬の削減について議決となった事に伴い、感染症対策等への支出として町内の施設10箇所へ「非接触型体温測定器」を設置しました。

田子町役場　正面玄関

図書館　入り口

非接触型体温測定器設置場所　一覧表

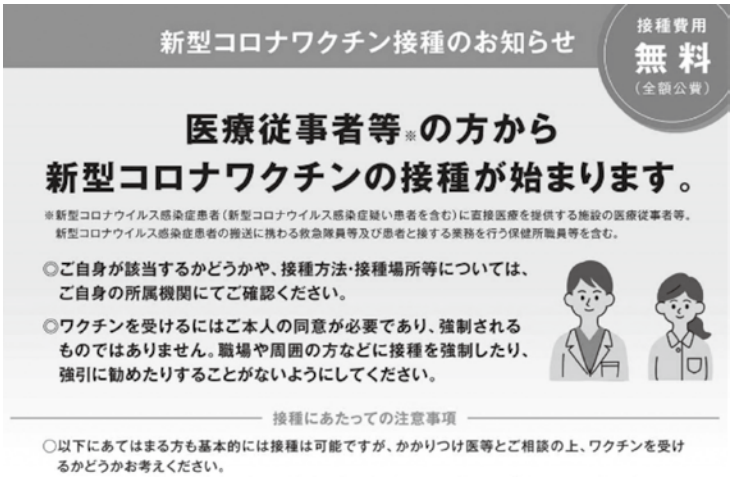
- 田子町役場
- せせらぎの郷
- 田子診療所
- 中央公民館
- 上郷公民館
- 図書館
- ガーリックセンター
- 老人センター
- すくすく館
- タッコファーマーズマーケット

合計数：１０台

コロナウイルスワクチン接種

基本的な接種計画は、対象者は16歳以上で、接種順位については、医療従事者等、65歳以上の高齢者の方、基礎疾患を有する方、それ以外の方の順となり、接種方法は、町立田子診療所、福原胃腸科外科医院の2医療機関で、完全予約制による個別接種を計画している。

対象者への周知方法については、接種日が決まり次第、ケーブルテレビ、全戸配布のチラシ、緊急告知放送を使い周知徹底したいと考えている。情報に対して、落ち着いた行動をお願いしたい。



合同常任委員会　現地調査

昔ながらのかわらぶき
屋根を継承しつつ、
現代との共生を表現した。

迎賓館として生まれ変わり、田子町の玄関口として多目的な利用を計画している。

令和3年3月12日、古民家改修事業について現地調査を行いました。改修コンセプトは、「冒険する旅人を迎える〝田舎の迎賓館〟とし、懐かしさと現代による新旧の協奏を目指したとのことでした。既存を活かしつつ室内の色は濃茶で「旧」を、白で「新」を表現していて、協奏の空間を創りだしている。これから、田子町を訪れた〝旅人と町民の様々な交流の拠点とし、新たな可能性が生まれ、広がることを期待したい。

（宮村　尚哉）

常任委員会って？

陳情、請願を詳細に審査し、町政を専門的に調査するために常時置かれている委員会です。田子町議会では２つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属します。

次号は総務・文教常任委員会について

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、新しい生活様式が生まれ、様々な事を我慢せざる終えない状況が続いております。しかし、ワクチン接種が始まり、かすかな光が大きな光へと変わろうとしています。正しい情報から正しい知識を得て、落ち着いて対処していかなければならないと思います。町政とともに議会も一丸となり、皆様とともに乗り越えていきましょう。

（尾形　憲男）

発行・編集責任者
議長　澤口　勝
議会広報編集委員会（107号）
委員長　宮村　尚哉
副委員長　宇藤　大介
委員　尾形　憲男
欠端　則夫
山崎美代志
執筆協力
北田　騰

■発行／田子町議会　青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平８１　TEL 0179-20-7121 FAX 0179-32-4294
■編集／田子町議会広報編集委員会 ■メールアドレス takko0601a@town.takko.lg.jp【印刷】有限会社赤坂コピーライツジム